

平成10年厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
分担研究報告書

病院における助産婦が行う産褥ケアの質に関する研究

分担研究者 平澤 美恵子 日本赤十字看護大学教授

研究要旨

施設内で母親は産褥早期にどのようなケアを受け、また必要としているのかを知り、病院内で助産婦が行う産褥ケアの質を検討することを目的に研究を行った。都内のN総合病院の褥婦46を対象に、越河六郎氏考案の看護業務分類基準に即して、2日間（48時間）の助産婦が行うケアのタイムスタディを行い、そのデータから一般病棟と対比して産褥ケアの特性を抽出した。業務分類21項目中多い順から、①身の回りの世話、②書類の記録点検、③報告・連絡・情報収集および交換、④観察・巡視、⑤私用・他、⑥オリエンテーションであった。「身の回りの世話」が多いのが特徴で、日勤・準夜・深夜帯と24時間通て行われており褥婦は24時間、産褥日齢に応じて個別的なケアを必要としていることが明らかになった。褥婦は個別性に基づいたケアを適時求め且つ受けていることが明確化した。受けているケアの量から助産婦のケアに要求される褥婦のニーズが示されたといえる。

A. 研究目的

施設内で、褥婦は産褥早期にどのようなケアを受け、また必要としているのかを知り、病院内で助産婦が行う産褥ケアの質を検討する。

B. 研究方法

タイムスタディによる調査研究

対象；都内のN総合病院の褥婦46人を対象にした。褥婦46人の特性は、11月12日の褥婦は23人で初産婦13人、経産婦10人、分娩様式は自然分娩18人、鉗子分娩3人、吸引分娩1人、帝王切開1人である。11月13日は初産婦14人、経産婦9人、分娩様式は自然分娩19人、鉗子分娩3人、吸引分娩1人である。分娩時の合併症としては両日とも、弛緩出血者、子宮収縮不全者、妊娠中毒症者、原発性・続発性微弱陣痛者が1～3人含まれている。産褥日数別では、産褥0日目が5人、1日目が7人、2日目が12人、3日目が7人、4日目が2人、5日目が2人、6日目が2人、7日目が2人、8日目が1人であった。原則的に分娩終了後から母子同室制をとり、褥婦のニーズに

より適時新生児を預かるシステムである。

方法：越河六郎氏考案の看護業務分類基準（21項目）に即して、2日間（48時間）27人の助産婦のケアを30秒スナップでタイムスタディを行い、そのデータから産褥ケアの特性を抽出した。

調査期間は、平成10年11月12日、13日の2日間（48時間）で、11月12日の日勤帯から開始し14日の深夜帯迄の48時間行った。

C. 研究結果

2日間を通して看護業務分類基準21項目の中で最も多く行われていた業務は「身の回りの世話」「書類の記録・点検」「報告・連絡・情報収集及び交換」「観察・巡視」「私用・他」「オリエンテーション・指導」であった。特に「身の回りの世話」は日勤帯で33.2%、準夜帯で30.3%、深夜帯で50.5%と各勤務帯の業務の中で、1/2から1/3を占めていた。次いで日勤帯・準夜帯で多いのは「報告・連絡・情報収集及び交換」である。準夜帯で

は上記の6業務の他に、「各種測定」が5%を占め、深夜帯では「検査及びその介助」が約4%と続いている(表1.表2.表3、図1.図2.図3.)。

更にこの業務内容を小項目で見ると「身の回りの世話」は、日勤帯では乳房マッサージ、授乳介助、搾乳介助が最も多く、新生児には沐浴の他に清拭したり衣類の交換をして皮膚の清潔に配慮する他、あやしたりなど、新生児の基本的ニードを満たしている。準夜帯でも搾乳介助、授乳介助が多く、褥婦が搾乳している間の新生児は糖水の補給や、おむつ交換、新生児をあやすなどのケアを受けている。深夜帯では睡眠中の褥婦を起こして授乳を支援したり、その間に新生児をあやし、おむつ交換や衣類の交換を行って基本的ニードに配慮している。褥婦には諸々のケアの相談や、排尿の介助、悪露交換を行い、早期離床に向けてのケアを受けている。

次に多い「書類の記録・点検」では、各勤務帯とも乳房カルテの記録が看護記録の記載割合よりも多く、日勤帯と深夜帯では、新生児検温表・チェックリストや沐浴台帳の記録が新生児の記録として特徴である。

「報告・連絡・情報収集及び交換」では、情報収集と意見交換が多い。

「オリエンテーション・指導」では、日勤帯では沐浴指導や退院指導、授乳指導、搾乳指導、分娩室からの帰室指導の他、新生児の状態説明が挙げられている。準夜帯になると、最も多いのは授乳指導で、直接行いながらと口頭で説明をするなど、授乳毎の関わりが示されている。次に乳房トラブルへの対応が多く、他には日勤帯と同様に授乳指導、搾乳指導、新生児の状態説明、検査のオリエンテーション、電話相談など多様な指導が行われている。また準夜帯・深夜帯では「観察・巡視」が行われ、乳房観察、新生児観察、病状観察、子宮の復古現象や創部の観察が行われている(表4,表5,表6)。

次に、産褥日数別の褥婦数とケア時間を表7と

図4から見ると、産褥日齢毎の褥婦の人数は異なるが、日齢が進んでも1人当たりの平均ケア時間数は減少せず、むしろ増加している。これは対象の個人差があり、産褥3日目で少ない人は15分程度、多い人は95分程度と、その時の褥婦の健康状態や乳房の状態、新生児の状態により差が生じていた。

タイムスタディの2日間には、初産婦で前期破水し長期安静入院の結果、妊娠35週6日で出産した褥婦がおり、長期安静のため足元がおぼつかず授乳にも不慣れで、精神的に落ち込み3時間毎の搾乳介助を行いながらケアしていた人や、初産婦、妊娠中毒症で妊娠35週に管理入院し、38週6日で吸引分娩しその後、弛緩出血1,890ml、Hb5,0g/dlとなり、血圧が不安定な状態が継続していた人、また妊娠36週で出産したが、児体重2,608gで褥婦の乳頭が大きく有効な吸着が出来ない状態で、産褥4日目に12.8%と体重減少したがミルクを補充しながら体重増加を目指し、増加傾向になったら黄疸が出現し産褥8日目に児は未熟児室に入院になった人などが含まれている。

病院における褥婦の産褥ケアには、このように正常経過を辿る人や、健康逸脱の褥婦も含まれるので24時間同じレベルでのケアが要求されていると言える。

D. 考察

今回のタイムスタディを平成5年に越河氏が倉敷中央病院で行った外科系・内科系病棟のタイムスタディ結果と対比すると、外科系・内科系では21項目中、多い業務内容は「書類の記録・点検」「報告・連絡・情報収集」「治療処置及びその介助」「身の回りの世話」「私用・他」「観察・巡視」の順である。

これより産褥ケアの特性は「身の回りの世話」と「オリエンテーション・指導」が挙げられる。「身の回りの世話」の中でも授乳に関するケア

が最も多く、産褥母子に対して母乳育児のケアに重きが置かれていることが明らかになった。母子関係の原点になる妊娠・出産・産褥早期のケアの重要性は論を要しない。妊婦は妊娠期から母子関係を形成し、出産後は母乳育児などを通して母親役割を形成しつつ、毎日の育児体験を経ながら育児に適応していく。従って、産褥早期のケアの質は、母親意識や役割形成に大きな影響を及ぼすと考えられる。この時期のケアの視点が母乳育児に向けられ、対象のニーズをアセスメントして褥婦の健康状態や乳房状態を的確に診断しながら、個別性を尊重してケアを行っている状況が24時間を通して示された。健康逸脱の褥婦にも、母親としての意識や主体性を持てるような対応の工夫は事例を通して行われていた。産褥ケアの特性は、日勤、準夜、深夜帯に均等に哺乳・授乳に関するケアが行われていることであり、常にケアを行いながら育児の基本的考え方の指導や、退院後の乳房トラブルの対処法など、褥婦の主体性を育てる関わりが要求される。

褥婦は個別性に基づいたケアを適時求め、且つ受けていることが判明した。受けているケアの量から助産婦に要求される褥婦のニーズが示されたと言える。今回は褥婦のニーズに対するケア満足度の調査は出来なかったが、ニーズが満たされて退院するためには、助産婦の適時の関わりの必要性が示唆された。

E. 結論

1. 産褥ケアは「身の回りの世話」が、業務の1/2から1/3を占め、その主なケア内容は哺乳・授乳へのケアである。
2. 母乳育児への理念が明確で、褥婦はそれに基づき日勤帯、準夜帯、深夜帯と24時間にわたり均等な哺乳・授乳へのケアを受けている。
3. 産褥日数毎の1人当たり平均のケア時間は変化なく、褥婦の個別性によりケア時間は影響

されている。すなわち、ケアの必要な褥婦はアセスメントに基づき、適時時間を掛けて必要なケアを受けている。

4. 新生児には基本的ニーズを満たす配慮がなされ、ケアを受けている。

5. オリエンテーション・指導が、日常のケアになっているが、対象特性に基づき行われるので、ケアの質を考えた時一定水準の能力が要求される。

6. 母乳育児や哺乳・授乳のケア、指導などは助産婦独自の判断の元に行うことが可能であるが、チームで関わる時には十分な情報交換が必要であり、それが実際に行われている。

F. 研究発表

1. 学会発表

- ①第40回 日本母性衛生学会, 1999, 10
- ②第14回 日本助産学会, 2000, 3

G. 協同研究者

安藤広子、鈴木恵子（日本赤十字看護大学）
村上睦子、千葉政子、田母神裕美（日本赤十字社医療センター）

II. 参考資料

越河六郎：「病棟看護業務の内容分析」-タイムスタディの結果から「業務としての看護をとらえる」、平成5年文部省科学研究補助報告資料

表 1) 日勤帯における各作業時間

中項目		時間[分]	割合
No.	内容		
1	観察・巡視	263.0	6.14%
2	カンファレンス	0.5	0.01%
3	会議	0.0	0.00%
4	オリエンテーション	405.5	9.46%
5	教育(職員)	372.0	8.68%
6	報告・連絡・情報収集および交換	600.5	14.01%
7	身の回りの世話	1423.5	33.21%
8	環境の整備	12.0	0.28%
9	検査およびその介助	14.0	0.33%
10	治療・処置および介助	72.0	1.68%
12	各種測定	105.5	2.46%
13	患者の移送	65.0	1.52%
14	書類の記録・点検	577.0	13.46%
15	機械・器具・材料の取り扱い	17.0	0.40%
16	薬剤の取り扱い	5.5	0.13%
17	管理業務	10.0	0.23%
18	クランク業務	7.0	0.16%
19	補助者業務	19.5	0.45%
21	私用・他	316.5	7.38%
0	不明	0.0	0.00%
計		4286.0	100.00%

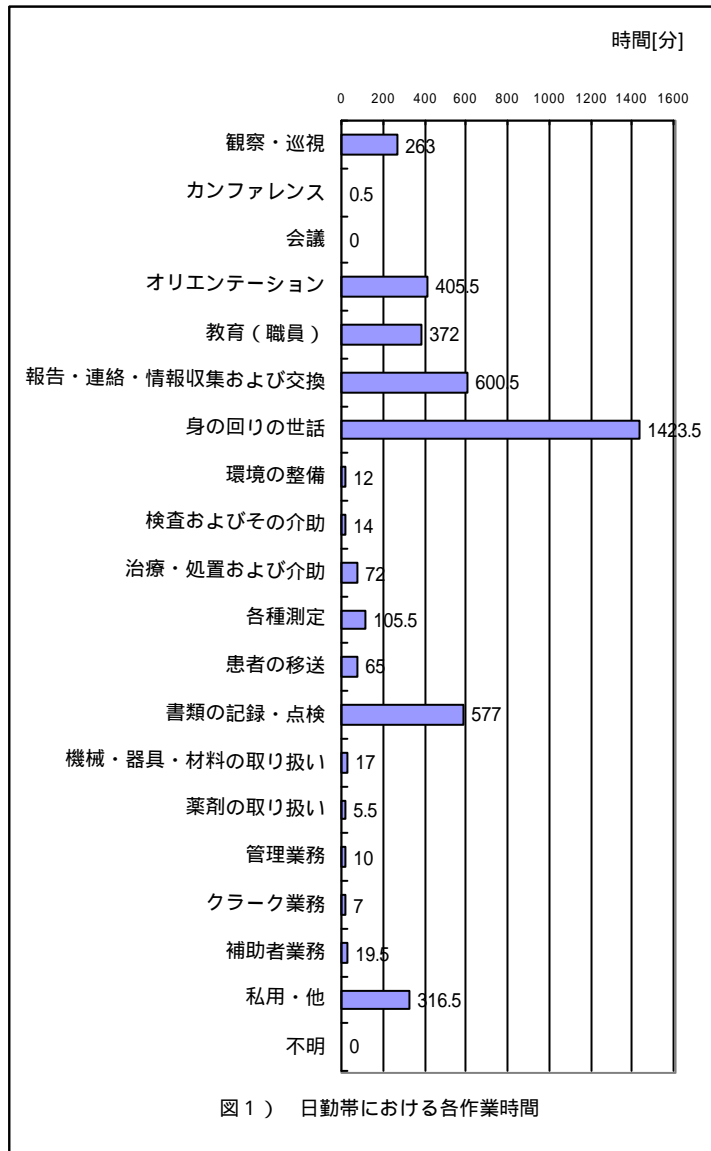


表2) 準夜帯における各作業時間

中項目		時間[分]	割合
No	内容		
1	観察・巡視	76.5	7.02%
2	カンファレンス	0.0	0.00%
3	会議	0.0	0.00%
4	オリエンテーション	124.5	11.43%
5	教育(職員)	0.0	0.00%
6	報告・連絡・情報収集および交換	181.5	16.67%
7	身の回りの世話	330.5	30.35%
8	環境の整備	7.5	0.69%
9	検査およびその介助	17.0	1.56%
10	治療・処置および介助	32.0	2.94%
12	各種測定	54.5	5.00%
13	患者の移送	22.5	2.07%
14	書類の記録・点検	176.0	16.16%
15	機械・器具・材料の取り扱い	0.5	0.05%
16	薬剤の取り扱い	1.0	0.09%
17	管理業務	0.0	0.00%
18	クラーク業務	10.0	0.92%
19	補助者業務	7.0	0.64%
21	私用・他	48.0	4.41%
0	不明	0.0	0.00%
計		1089.0	100.00%

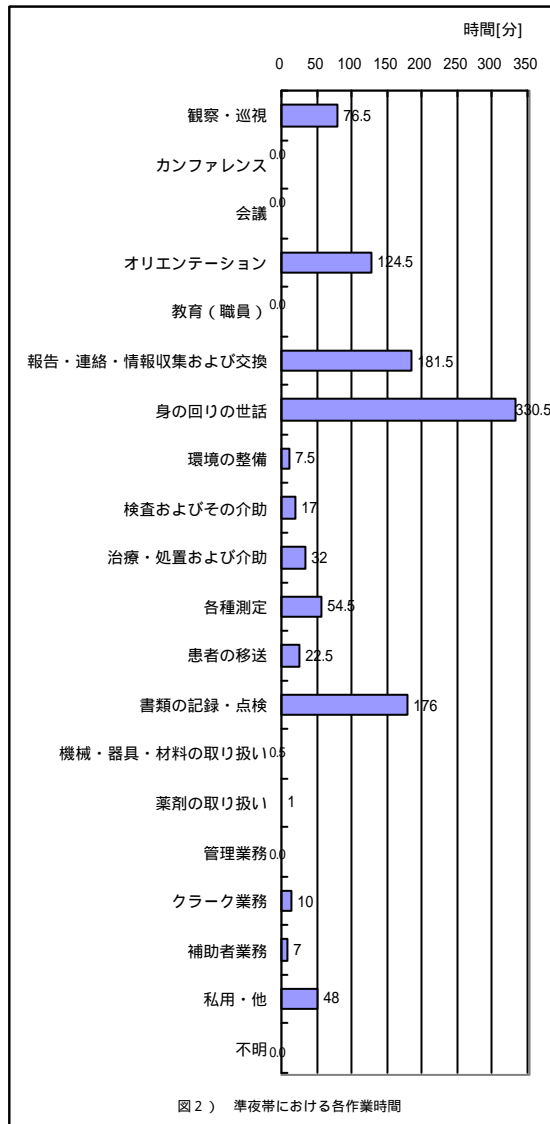


表3) 深夜帯における各作業時間

中項目		時間[分]	割合
No.	内容		
1	観察・巡視	62.5	6.12%
2	カンファレンス	0.0	0.00%
3	会議	0.5	0.05%
4	オリエンテーション	19.5	1.91%
5	教育(職員)	0.0	0.00%
6	報告・連絡・情報収集および交換	101.0	9.88%
7	身の回りの世話	516.5	50.54%
8	環境の整備	1.5	0.15%
9	検査およびその介助	40.5	3.96%
10	治療・処置および介助	25.5	2.50%
12	各種測定	29.5	2.89%
13	患者の移送	9.0	0.88%
14	書類の記録・点検	134.0	13.11%
15	機械・器具・材料の取り扱い	0.0	0.00%
16	薬剤の取り扱い	1.5	0.15%
17	管理業務	6.5	0.64%
18	クレーク業務	0.0	0.00%
19	補助者業務	5.0	0.49%
21	私用・他	69.0	6.75%
0	不明	0.0	0.00%
計		1022.0	100.00%

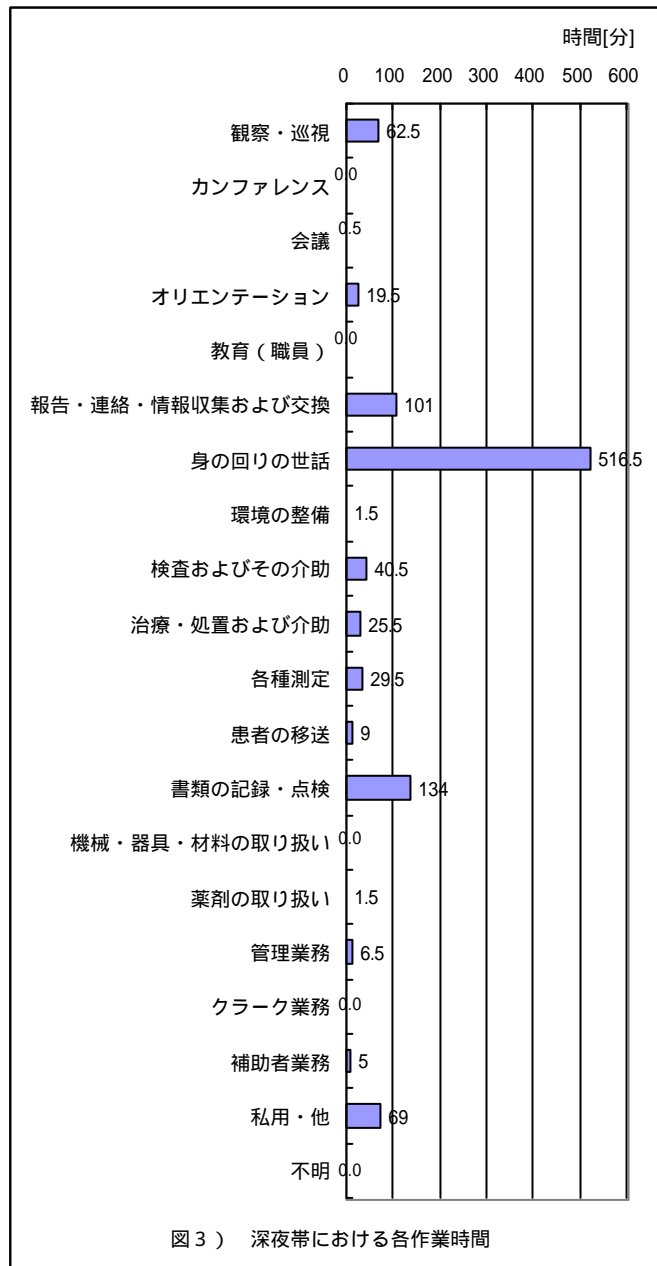


表4) 日勤帯における主な作業内容と時間

中項目		小項目		時間(分)	割合		
No.	内容	No.	内容				
4	オリエンテーション	26	沐浴指導	73.5	1.71%		
		27	褥婦の退院指導	49.5	1.15%		
		22	翌日の日程説明	43	1.00%		
		15	帰室指導	39	0.91%		
		13	その他	38.5	0.90%		
		23	授乳指導	29	0.68%		
		31	新生児状態説明	24	0.56%		
		12	移動	14.5	0.34%		
		38	搾乳指導	14.5	0.34%		
		19	病棟オリエンテーション	12.5	0.29%		
		5	教育(職員)	8	実習指導	275	6.42%
6	相談・評価			57	1.33%		
14	その他			18.5	0.43%		
13	移動			13	0.30%		
6	報告・連絡・情報収集および交換	1	申し送り	218	5.09%		
		15	情報収集交換	126.5	2.95%		
		7	電話受け・他部署への連絡	52	1.21%		
		18	書類からの情報収集	46	1.07%		
		2	連絡・報告	28.5	0.66%		
		12	移動	23	0.54%		
		10	指示受け	17	0.40%		
		11	面会者との対応	16	0.37%		
		13	その他	15.5	0.36%		
		5	業務調整	15	0.35%		
		7	身の回りの世話	52	搾乳介助	376	8.77%
53	授乳介助			365	8.52%		
54	乳房マッサージ			285.5	6.66%		
34	その他			72.5	1.69%		
33	移動			60	1.40%		
11	新生児の沐浴			44.5	1.04%		
55	外来患者の乳房マッサージ			34	0.79%		
38	新生児をあやす			33.5	0.78%		
28	安楽			17.5	0.41%		
40	新生児の清拭			16.5	0.38%		
35	ケアの相談・指示			16	0.37%		
57	手洗い			16	0.37%		
45	新生児おむつ交換			15	0.35%		
43	新生児の衣類の交換			12.5	0.29%		
14	書類の記録・点検			24	乳房カルテ記録	176	4.11%
				21	新生児検温表・チェックリスト	50	1.17%
		2	看護計画立案	45	1.05%		
		5	検温表	41.5	0.97%		
		12	各種記録の点検	37.5	0.87%		
		18	その他	36.5	0.85%		
		14	メモ	27.5	0.64%		
		23	母子手帳	25	0.58%		
		1	看護記録	24.5	0.57%		
		17	移動	17	0.40%		
		15	書類さがし	15	0.35%		
		6	病棟日誌	13.5	0.31%		
		21	私用・他	3	休憩	205	4.78%
1	食事			63	1.47%		
4	トイレ			21	0.49%		

表5) 準夜帯における主な作業内容と時間

中項目		小項目		時間[分]	割合
N d	内容	N d	内容		
1	観察・巡視	7	移動	33.0	3.03%
		11	乳房を観察する	17.5	1.61%
		1	患者訪問	6.5	0.60%
		2	病状観察	6.0	0.55%
		8	その他	4.0	0.37%
		17	子宮収縮・オロの観察	3.5	0.32%
		15	ドップラーで心音をきく	3.0	0.28%
		4	オリエンテーション	23	授乳指導(口頭での説明)
24	乳房のトラブルと対応に関する指導	18.5		1.70%	
13	その他	14.5		1.33%	
0	処置関連の指導	9.0		0.83%	
31	新生児の状態に関する説明	9.0		0.83%	
37	状態の説明	8.0		0.73%	
10	検査のオリエンテーション	7.0		0.64%	
36	電話相談	6.0		0.55%	
12	移動	5.5		0.51%	
39	授乳指導	5.0		0.46%	
38	搾乳指導	4.5		0.41%	
2	入院中の生活指導	3.5		0.32%	
20	おむつの交換の仕方を指導する	3.5		0.32%	
17	内服薬の説明をする	2.5		0.23%	
6	報告・連絡・情報収集および交換	1		申し送り	84.0
		15	情報収集交換	28.0	2.57%
		2	連絡報告	19.0	1.74%
		7	電話受け・他部署への連絡	14.5	1.33%
		10	指示受け	9.0	0.83%
		13	その他	8.5	0.78%
		12	移動	5.0	0.46%
		5	業務調整	3.5	0.32%
7	身の回りの世話	52	搾乳介助	167.5	15.38%
		53	授乳介助	123.0	11.29%
		35	ケアの相談・指示	7.0	0.64%
		44	新生児にミルク・糖水を飲ませる	5.5	0.51%
		33	移動	4.5	0.41%
		45	新生児のおむつ交換	4.5	0.41%
		38	新生児をあやす	4.0	0.37%
		28	安楽	2.5	0.23%
		34	その他	2.0	0.18%
		57	手洗い	2.0	0.18%
		63	冷凍タオル	2.0	0.18%
		62	ほ乳瓶・カップの準備・片づけ	1.5	0.14%
14	書類の記録・点検	24	乳房カルテ	80.5	7.39%
		1	看護記録	36.5	3.35%
		5	検温表	12.0	1.10%
		11	伝票類の記入点検	8.5	0.78%
		20	カーデックス	7.0	0.64%
		33	ホワイトボード	6.5	0.60%
		8	指示の転記	5.0	0.46%
		14	メモ	5.0	0.46%
		18	その他	4.0	0.37%
21	私用・他	3	休憩	31.0	2.85%
		1	食事	7.5	0.69%
		4	手洗い・トイレ	5.0	0.46%

表6) 深夜帯における主な作業内容と時間

中項目		小項目		時間[分]	割合		
No.	内容	No.	内容				
1	観察・巡視	3	病状巡視	14.0	1.37%		
		7	移動	9.5	0.93%		
		2	病状観察	9.0	0.88%		
		12	新生児観察	8.0	0.78%		
		1	患者訪問	5.5	0.54%		
		8	その他	3.5	0.34%		
		9	聴診器観察	3.5	0.34%		
		11	乳房観察	3.5	0.34%		
		6	モニター観察	2.5	0.24%		
		13	創部の観察じょく婦	2.5	0.24%		
		6	報告・連絡・情報収集および交換	1	申し送り	67.0	6.56%
				2	連絡、報告	21.5	2.10%
				18	情報収集	4.5	0.44%
8	ナースコール受け			2.0	0.20%		
12	移動			2.0	0.20%		
14	挨拶			1.0	0.10%		
15	情報収集			1.0	0.10%		
7	身の回りの世話	51	夜間母親起こす	16.0	1.57%		
		38	新生児をあやす	14.0	1.37%		
		35	ケアの相談	10.5	1.03%		
		45	新生児オムツ交換	10.0	0.98%		
		57	手洗い	9.5	0.93%		
		43	新生児衣類の交換	8.0	0.78%		
		19	排尿介助	6.5	0.64%		
		49	悪露交換	4.0	0.39%		
		27	安楽の確保	2.5	0.24%		
		28	安楽	2.0	0.20%		
		34	その他	2.0	0.20%		
		31	待ち時間	1.0	0.10%		
		60	新生児預かり、戻し	1.0	0.10%		
9	検査およびその介助	1	採血	29.0	2.84%		
		21	検体の控えとの照合	5.0	0.49%		
		2	尿	4.0	0.39%		
		25	移動	2.0	0.20%		
14	書類の記録・点検	24	乳房カルテ	55.5	5.43%		
		1	看護記録	22.0	2.15%		
		14	メモ	11.5	1.13%		
		26	沐浴台帳	7.0	0.68%		
		7	医師の指示の読み取	6.0	0.59%		
		23	母子手帳	6.0	0.59%		
		21	新生児検温表チェック	4.5	0.44%		
		6	病棟日誌	3.0	0.29%		
		11	伝票類の記入点検	3.0	0.29%		
		17	移動	3.0	0.29%		
		5	検温表	2.5	0.24%		
		13	資料作り	2.5	0.24%		
21	私用・他	3	休憩	62.5	6.12%		
		4	手洗い、トイレ	3.5	0.34%		

表7) 産褥日数別褥婦数及び看護時間

	0	1	2	3	4	5	6	7	8
褥婦数	5	7	12	7	2	2	2	2	1
総看護時間数(分)	194.5	396	590.5	393	77	172.5	188	188	83.5
1人当平均看護時間数(分)	38.9	56.57	49.2	56.14	83.5	86.25	94	94	38.5

